

現状の「公共サービス」で十分か



森 みきお 議員

臨時職員の雇用安定・ 処遇改善

どこの職場においても就職するには、福利厚生の実が重視されるが、町内保育所では臨時保育士が41%・調理員が60%となっている。臨時保育士ともなれば働き続けていきたいと思っても、出産・育児のたびに退職、就職を繰り返し、再就職もすぐでない。

また、各保育所の保育士・調理員の正規職員・臨時職員の雇用状況を見ると、各園であまりにも違い

が大きすぎる。

このような状況下では、町内の子どもが同じサービスを平等に受けられる環境になっていない。平成29年5月に衆議院で可決し公布されている、地方公務員法及び地方自治法の一部改正により、臨時保育士・調理員の雇用安定、処遇改善とともに、子どもが受けられる平等の環境づくりに取り組まなければならないが、町長としての責務の思いは。

池田町長

自治体における臨時・非常勤職員の雇用や処遇改善については、人材確保の面からも取り組んでいかなければならない課題だと認識している。

平成29年5月に地方公務員法及び地方自治法の一部が改正され、常勤職員と非常勤職員の区分や制度が不

明確であった臨時・非常勤職員についての、統一的な取り扱いが定められることとなった。新たに会計年度任用職員制度が創設されることになり、期末手当をはじめとする一定の手当を支給することも可能になった。

今後、平成32年4月からの改正法の施行に向け、給与水準などをはじめとする勤務条件などについての詳細が決まる。「同一価値労働・同一賃金」の観点に対する一定の改善が図られるものと考えており、国の動向を注視するとともに、町としても検討を進めていきたい。

旧勝賀瀬小学校の 活用は

森議員

「森友学園」・「加計学園」の疑惑問題で、森友学園が国や大阪府の補助金を不正受給したとされる事件で、

国の補助金をだまし取った詐欺容疑で前理事長とその妻が逮捕された。国有地の払い下げについては、財務

省近畿財務局が、不当に安く売却したとして背任容疑で告発されている。町でも町有地を不当に安く売却したとして、元町長の伊藤氏らが前町長の塩田氏への損害賠償請求を求めた訴訟で、最高裁は塩田氏への947万円の請求を命じた判決が確定された。

一方、愛媛県今治市に岡山理科大の獣医学部を新設する計画を巡っては、「総理の意向」などと記載された記録文書が見つかり、学校法人審議会が獣医学部新設計画の可否について、判断を保留したことで、大学設置基準に照らしても計画内容に疑義が生じる事態となった。

このように全国的に揺れに揺れている新設問題の中で、旧勝賀瀬小学校での「日吉学園」計画は、その後の動きはどのようなになっているのか。

藤岡教育長

平成28年12月議会において、いの町立小学校設置条例の一部を改正し、学校法

人「日吉学園」に土地建物無償貸与として、平成29年3月30日に契約が締結され、現在は、平成31年4月開校に向けて準備を進めていると聞いている。

「紙の門松」を 全家庭に

森議員

家庭の門先には新年を迎えるため、どこ家庭でも「門松」が飾られていたが、「紙の門松」に変わり、それも経費削減とのことから廃止した。新春の顔として気持ち新たに新年を迎えるにあたり配布復活を考えてみてはどうか。

山崎教育次長

「紙の門松」は、これまでと違う形での配布、あるいは自由選択での活用方法を考えていきたい。例えば広報誌の紙面に印刷し、切り取って使う方法や、生涯学習講座での正月飾り教室など、希望される方に活用いただけるような機会を今後検討していきたい。